

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

| | | | | | | | |
|---------|-----------|-----|---------|--------|--------|---------|--|
| 事務事業名 | 古文書修復事業 | | | | 開始年度 | 昭和63年度 | |
| 基本目標 | 文化財の保護と活用 | | | | 終了年度 | | |
| 担当課(局) | 社会教育課 | 担当係 | 図書館 | 記入者 | 矢野 やす子 | 評価者 | 東 啓三 |
| 20年度決算 | 881 | 千円 | 21年度予算 | 864 | 千円 | 事業の実施方法 | <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 |
| 20年度人件費 | 719 千円 | | 21年度人件費 | 728 千円 | | 事業従事者数 | 0.10 人 0.10 人 |

◎事務事業の目的・内容

| | |
|-------|--|
| 事業の目的 | 高鍋の歴史と文化を伝える唯一の資料である古文書古記録類を保存し広く町民に供する。 |
| 事業の内容 | 対象資料—高鍋町有形文化財(諸家文書等) 藩校明倫堂教科書 ①資料解体 ②修理(裏打ち) ③復元(化粧裁ち・製本) |

◎成果指標と活動指標

| | | |
|------|---------------|--|
| 成果指標 | 成果指標名 | 何を狙い、どのような成果が得られたのか |
| | # 古文書古記録修復総数 | 資料の保存。今年度は資料の劣化が激しく技術的に困難であった。 |
| | 2 | |
| 活動指標 | 活動指標名 | どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に |
| | # 単年度古文書古記録修復 | 一連の修復作業のうち、資料の劣化が激しかったので、解体の段階でかなり手間取り、事業時間の削減も影響した。 |
| | 2 | |
| | 3 | |

◎達成状況

| 指標名 | | 単位 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | |
|------|-------------|-----|------|---------|---------|--------|
| 成果指標 | 古文書古記録修復総数 | 目標値 | 冊 | 15,815 | 15,815 | 15,815 |
| | | 実績値 | 冊 | 6,838 | 6,888 | |
| | | 達成率 | % | 43.2% | 43.6% | |
| | 0 | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | % | #DIV/0! | #DIV/0! | |
| 活動指標 | 単年度古文書古記録修復 | 目標値 | 冊 | 129 | 50 | 70 |
| | | 実績値 | 冊 | 129 | 50 | |
| | | 達成率 | % | 100.0% | 100.0% | |
| | 0 | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成率 | % | #DIV/0! | #DIV/0! | |

◎事務事業の評価

| | | |
|-----------|--|---|
| 妥当性 (必要性) | ◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか | 高鍋町の歴史を考証する上でもまた文化遺産としても大変貴重な資料である。事実、来館する学者曰く、これらの文化遺産に対する高鍋町の姿勢に対してかなりの賛辞を貰う事が多い。従って研究のためのリピーターは多い。資料の散逸を防ぐためにも、町で管理保存されるべき事業である。以上の理由を踏まえて、業者等に依頼すると高額な経費を必要とする。資料の劣化は進む一方である。今後もあらゆる手立てを講じて、保存の方法を考慮していかなければならない。 |
| 有効性 | ◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか | 資料の劣化状況を把握しながら事業を進めているが、行使する上で最良の条件が揃っている訳ではないので今後の状況が懸念されるが修復したのものについては、劣化の進行はあまり認められていないようである。また地方の資料であるので、修復者もその性質を把握し資料の特性を考慮した修復を常に研究している。 |
| 効率性 | ◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか | 特殊技術を必要とする事業であるので、経験を積むほどに種々の効果を発揮する事は以前より報告するところである。従事者の勤務状況を考慮することにより実質経費削減も考えられる。 |
| 協働性 | ◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等) | 資料については唯一資料である事と、個人情報等の開示も考慮される部分も考えられるので、慎重に対処したほうが無難と思われる。 |

| | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 事務事業名 | 古文書修復事業 | 担当課(局) | 社会教育課 |
|-------|---------|--------|-------|

◎総合評価(今後の方向性を含む)

| | | | | | | | |
|------|---|-------------------------------------|--------|----|------|----|---|
| 総合評価 | ◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等 | 当町の貴重な文化遺産であるので、今後も継続して実施していく必要がある。 | 今後の方向性 | | | | |
| | | | 拡充 | | | | ○ |
| | | | 現状維持 | | | | |
| | | | 縮小 | | | | |
| | | | 廃止 | | | | |
| | | | 廃止 | 縮小 | 現状維持 | 拡充 | |
| | | | コスト | | | | |

| | | | |
|------------------|-----|----|---|
| 事務事業評価委員会 評価欄 | 事業 | 拡充 | ◎「誰でもはできない」という事で終わらせては、いつまでも進まないのではないか。ホームページで呼びかけるなど、今後の方策も含め何かしらの検討をすべきである。 |
| | コスト | 拡充 | |